

## IPO銘柄 PRISM BioLab (206A・グロース)

コード	投資単位	公開株式数	仮条件（上限PER）	主幹事証券
206A	100株	公募：400.00万株 売出：0.00万株（OA60.00万株）	435円～450円 （-）	SMBC日興証券



## 独自技術で新薬開発に取り組むバイオベンチャー

## ■事業内容

独自のヘリックスペプチド模倣技術「PepMetics技術」を用いて新薬開発に取り組むバイオベンチャー。自社開発事業と、大手製薬会社の創薬標的に同社の技術を利用して創薬プログラムを創出する共同開発事業を展開。自社開発事業では、適応症ががん、導出先がエーザイ（4523）の「E7386」や、適応症が肝硬変、導出先が大原薬品工業の「PRI-724」など複数のパイプラインが進行中。共同開発事業は従来、パートナーの意向に応じて、共同、もしくはパートナーが単独で、化合物の最適化を行うことになっていた。しかし、同社内で活性評価の機能を構築したことから、23年11月の米Eli Lillyとの契約以降、同社がLead化合物、もしくは臨床候補化合物までの合成と化合物評価を行う契約への転換を図っている。

## ■特徴

「PepMetics技術」は「細胞内PPI（タンパク質間相互作用）の制御」というコンセプトで優位性を持つ、画期的な創薬基盤といえる。細胞内PPI阻害薬はこれまで米Abbvie社の「ベネトクラクス」一つしか承認されておらず、その開発は極めて困難とされてきたが、「PepMetics技術」により将来的に新たな創薬分野を切り開く構え。ハイリスク、ハイリターン自社開発事業と、安定的で早期収益化が可能な共同開発事業を組み合わせることで、安定的な収益を確保しつつ、将来的には大型契約による利益拡大を目指している。

## アナリストコメント

## ■定量分析

24年9月期の非連結経常損益は9億1,400万円の赤字を計画する。前期は4億9,700万円の赤字だった。開発費負担の重いビジネスモデルで、足元は開発の進ちょくと共に負担が増加。売上規模はまだ少額ながら高成長している。

## ■定性分析

赤字のバイオベンチャーで、投資家のアレルギーが強い。グロース市場、IPOマーケットが低迷する中で、こういったタイプの銘柄は買いが入りにくい傾向にある。一方、7月のIPOが同社以降は承認されておらず、分散懸念のないスケジュールはポジティブ。

## ■需給状況

仮条件の上限で試算した市場からの吸収金額は20億円程度。グロース市場に上場する案件としては軽量感はないものの、売り出し株がオーバーアロットメント分のみに抑えられているなど、需給面を勘案した設計にはなっている。（小泉 健太）

## ■類似企業

PRISM BioLab (206A・グロース)	予想PER 一倍 (仮条件上限)
Chordia Therapeutics(190A・グロース)	予想PER 一倍
ブライトパス・バイオ(4594・グロース)	予想PER 一倍

## ■引受証券

SMBC日興証券、大和証券、みずほ証券、SBI証券、岩井コスモ証券、松井証券、丸三証券

## 業績・財務指標

	売上高 (百万円)	前年比 (%)	経常損益 (百万円)	前年比 (%)	最終損益 (百万円)	前年比 (%)	EPS (円)	1株あたり 年間配当金(円)
22年9月期(実績)	554	9.4倍	78	黒転	72	黒転	2.7	—
23年9月期(実績)	112	▲79.6	-497	赤転	-526	赤転	-19.1	—
24年9月期(会社予想)	300	2.7倍	-914	赤転	-1,160	赤転	-37.2	0.00

※24年5月に株式分割(1株→200株)を実施。22年9月期および23年9月期のEPSは遡及修正

	発行済み 株式総数(株)	総資産 (百万円)	純資産 (百万円)	資本金 (百万円)	BPS (円)	自己資本比率 (%)	自己資本当期 純利益率(%)
22年9月期	138,024	1,740	1,674	12	-15.4	96.2	5.3
23年9月期	138,024	1,211	1,148	12	-34.5	94.7	—

※22年9月期および23年9月期のBPSは遡及修正

## 大株主上位(上場前)

	氏名または名称	所有株式数(株)	所有割合(%)
1	DBJキャピタル投資事業有限責任組合	5,829,000	16.30
2	大和日台バイオベンチャー2号投資事業有限責任組合	4,308,200	12.05
3	WMグロース3号投資事業有限責任組合	3,965,800	11.09
4	ライフサイエンス3号投資事業有限責任組合	2,965,400	8.29
5	Eli Lilly and Company	2,500,000	6.99
6	竹原 大	2,279,000	6.37
7	中島 喜一郎	1,872,000	5.23
8	Newton Biocapital I Pricafprivee SA	1,250,000	3.49
8	santec Holdings(株)	1,250,000	3.49
10	大原薬品工業(株)	1,000,000	2.80

## 経営陣

役職	氏名
代表取締役	竹原 大
取締役 管理部長	前田 倫宏
取締役 研究開発部長	朴 熙万
取締役	古島 ひろみ
常勤監査役	石黒 雄児
監査役	田島 照久
監査役	河田 喜一郎
監査役	眞谷 俊誠

# ウェルスアドバイザーIPOレポートの読み方

## 特徴

ウェルスアドバイザーIPO（※1）レポートでは、日本国内の取引所に新たに上場する銘柄を取り上げ、ウェルスアドバイザーが位置する中立的な第三者としての立場からIPOに関する情報を提供いたします。ブックビルディング（※2）が始まる前にレポートを提供することにより、IPOへの参加を検討している投資家にとって有用な情報となるでしょう。ウェルスアドバイザーIPOレポートには、企業名・コード・公開株数など基本情報やブックビルディング期間・申込期間などIPO日程のほか、ウェルスアドバイザーの担当アナリストによるコメントを掲載いたします。

- ※1 IPO (Initial Public Offering) : 新規株式公開。
- ※2 ブックビルディング: 引受証券会社が機関投資家などの意見をもとに決定した仮条件を投資家に提示し、投資家の需要がどの程度あるかを把握することによって、マーケットの動向に即した公開価格を決定する方法。一般的に需要積み上げ方式と呼ばれる。

## 項目説明

### ■ 事業内容

新規上場する企業の事業概略を解説します。主要製品やサービスのほか、セグメント別の売上高構成比率などを記載。新規上場時の事業の状況や、先行きの見通しなども交えて分かり易くお伝えいたします。

### ■ 特徴

新規上場企業の設立経緯から現在の事業環境、ビジネスモデルや事業の強み、顧客動向、業績内容、海外展開、経営陣など様々な観点から特筆すべきエッセンスのみを抽出し、掲載いたします。

### ■ 定量分析

新規上場時に開示される前期、前々期の業績実績と今期の会社計画を用い、業績の成長性や収益性、財務安定性の面から新規上場銘柄を分析いたします。

### ■ 定性分析

新規上場銘柄が持つ事業の特性や事業環境、セクター動向などを踏まえ、定性的な評価をするほか、足元の株式市場の状況などを考慮して、マーケットから見た新規上場銘柄に対する見方なども掲載します。

### ■ 需給状況

公募・売り出しの株数と仮条件をふまえ、市場からの吸収金額を試算するほか、足元の新興市場の動向、類似企業の株価推移、ベンチャーキャピタルによる保有株放出の可能性なども考慮し、上場初日の需給状況を予想いたします。

### ■ 類似企業

新規上場企業と同じ業種に属する競合他社や類似企業を取り上げてPERを併記いたします。PERの水準は初値の参考指標として有効です。

## 本資料のご留意事項

- ・本資料は投資判断の参考としての情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。銘柄の選択、投資判断の最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。
- ・本資料は、SBI証券が、ウエルスアドバイザー株式会社が信頼できると判断して作成したレポートを有償で提供を受けておりますが、その正確性、安全性等について保証するものではありません。本資料に掲載された意見は、作成日における判断であり、予告なしに変更される場合があります。
- ・本資料の著作権、知的所有権等一切の権利はウエルスアドバイザー株式会社に帰属しますので、許可なく複製、転写、引用等を行うことを禁じます。

## 手数料およびリスク等について

### 国内株式取引の手数料

・株式取引にあたっては、所定の手数料がかかります（手数料はお客様の取引コース、取引チャネル、取引プランや売買代金等により異なることから記載しておりません）。詳しくは、SBI証券WEBサイトの当該商品等のページ、金融商品取引法に係る表示又は上場有価証券等書面等をご確認ください。

### 国内株式取引のリスク情報について

- ・国内株式の取引は、株価の変動等により損失が生じるおそれがあります。
- ・信用取引は、少額の委託保証金で多額の取引を行うことができることから、時として多額の損失が発生する可能性を有しています。
- ・信用取引の対象となっている株価の変動等により損失が生じるおそれがあります。また、その損失の額が、差入れた委託保証金額を上回るおそれがあります。

### 留意点

- ・SBI証券が保有する株式等や主幹事担当会社の重要な開示事項（利益相反関係等）についてはSBI証券WEBサイト（[http://search.sbisecc.co.jp/v2/popwin/info/home/pop690\\_kajji.html](http://search.sbisecc.co.jp/v2/popwin/info/home/pop690_kajji.html)）をご確認ください。または、カスタマーサービスセンター（0120-104-214（携帯電話・PHSからは03-5562-7530））までお問い合わせください。
- ・取引コースや商品ごとに手数料等およびリスクが異なりますので、契約締結前交付書面、上場有価証券等書面、ウェブサイト、等をよくご確認ください。または最寄の取扱店までお問い合わせください。
- ・最終的な投資判断は目論見書の内容をご確認ください。目論見書はSBI証券のホームページで入手いただけます。

商号等：株式会社SBI証券 金融商品取引業者 登録番号：関東財務局長（金商）第44号 加入協会：日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会 一般社団法人第二種金融商品取引業協会
---